

令和3年度 青森県県土整備部優良工事表彰

工事の概要

工事名	国道279号道路改良(南BP)工事		
受注者名	上北建設 株式会社		
工事場所	上北郡横浜町字上イタヤノ木地内	請負金額	207,174,000円
工期	令和元年9月13日～令和2年7月31日	成績評定点	85点
完成年月日	令和2年8月6日	推薦公所	上北地域県民局地域整備部
主任(監理)技術者	山本 達也	優良技術者表彰	総括監督員 内海 達也
工事内容	施工延長 L=269.4m 道路土工 N=1式 地盤改良工 N=1式 外	主任監督員	相馬 良壘
		監督員	戸来 啓

推薦理由

本工事は、下北地方生活圏の中心都市「むつ市」と東北縦貫自動車道八戸線を結び、下北・南部・青森地方生活圏の地域間連携強化、下北地方の産業等の発展を支援する地域高規格道路(下北縦貫道路)の一貫として横浜南バイパス工区における路体盛土施工を主とする道路改良工事である。

本工事区間の周辺では、同時期発注の業者が隣接して施工しており、各社との工程を調整し現場を進めなければならない状況であり、各社との連携・早期竣工を意識し、かつ安全第一で工事を進める必要があった。

上記条件の中、本工事では、道路土工全般において「ICT(i-Construction)」を活用し、UAV(ドローン)を活用した写真測量で起工測量～出来形測量を行ったほか、ICT建機を導入したマシンコントロールによる施工やGNSS(衛星測位システム)を用いた盛土の締固め管理を行うなど、ICT技術を駆使し現場の品質確保に努め、工事の施工性・省力化を実現した。また上記取組と併せて、現場周辺の歩道・道路清掃、運搬路出入口に交通誘導員を配置するなど、地域貢献活動にも積極的に取り組んだ結果、周辺住民からの苦情等はなく無事故で早期竣工を実現した。県内建設業においても、これから大きく普及することが期待される「ICT(i-Construction)技術」を積極的に活用し、ICT技術普及に貢献した。

受注者は、ICT技術の積極的な活用による品質の向上と普及、省力化等の実現・生産性向上に努めている。

以上、工事に関し新技術や新工法の活用、省力化等の創意工夫に努め、生産性向上に特に顕著な成果をあげたもの工事であることから、青森県県土整備部優良工事に推薦するものである。

工事写真等

【完成】



【UAVによる写真測量】



【MCバックホウでの法面整形】



【道路清掃】



【MCブルによる盛土巻出し】



【GNSSによる盛土締固め】



【交通誘導員の配置】



受賞コメント

この度は、栄えある「地域整備部長表彰」を賜り誠にありがとうございます。ご指導頂いた監督職員、青森県建設技術センターの皆様、並びに工事に深い理解を頂いた地域住民の方々や工事に協力頂いた協力業者の方に深く感謝申し上げます。

今回の工事は、道路土工が主要となる工事で天候による工程の遅れ、土砂運搬中の一般車両からの苦情等が懸念されましたが、大きなトラブルなく工事を完成させる事ができました。また、道路土工において、「ICT技術」を全面的に取り入れ、新しい技術に挑戦できたことで、個人としても弊社としても一歩成長することができたと思います。今回の受賞を励みとし、弊社の品質方針である『お客様から「ありがとう」と言っていただけ会社になろう』を目指し、更なる安全および品質向上、新しい技術への挑戦に一層の努力をさせていただきます。



代表取締役社長
田島 一史



現場代理人・監理技術者
山本 達也

令和3年度 青森県県土整備部優良工事表彰

工事の概要

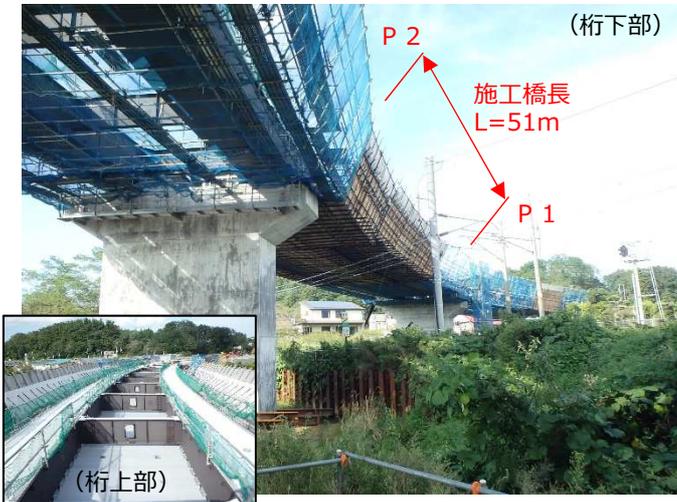
工事名	三沢十和田線橋梁架替（古間木橋）工事		
受注者名	東鉄・田中特定建設工事共同企業体		
工事場所	三沢市大字古間木地内	請負金額	494,956,000円
工期	令和1年6月22日～令和2年12月25日	成績評定点	86点
完成年月日	令和2年12月18日	推薦公所	上北地域県民局地域整備部
主任（監理）技術者	横山 典明、若木 典博 優良技術者表彰	総括監督員	若松 寛
工事内容	施工橋長 L=51m 工場製作工,工場製品輸送工,鋼橋架設工N=1式	主任監督員	葛西 孝人
		監督員	根城 平

推薦理由

本工事は、主要地方道三沢十和田線古間木橋の橋梁架替のため、鋼上部工を製作・架設した工事である。架設区間のP1～P2橋脚間は鉄道跨線部で安全面や時間的な制約等が伴う厳しい条件下であったが、資材落下や作業員感電等の防止対策として、吊り足場や架線防護等を鉄道管理者と調整しながら万全に施し、事故無く工事を完了した。また、足場や朝顔などを予め地組してから吊上げ設置するなど夜間作業の短縮を図るとともに、先行の製作・架設業者と同一の3次元原寸システムの活用により取り合いの整合や手戻り防止を図る等、作業の効率化及び工程管理に努め、工期内に工事を完了した。さらに、クレーンやバント等を設置する架設現場は軟弱地盤で、かつ鉄道に近接している困難な条件下であったが、地盤養生の検討や架台計画の提案を行い、周辺環境に影響させることなく無事に架設作業を完了することができた。以上、困難な自然的、社会的条件を克服して完成させ、優れた成果をあげた工事であることから、青森県県土整備部優良工事に推薦するものである。

工事写真等

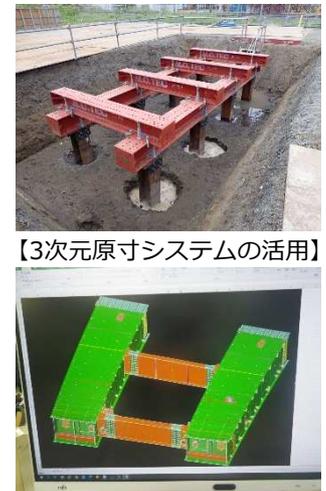
【完成状況写真】



【架線防護】



【クレーン架台 杭・山留材設置時】



受賞コメント

この度は、青森県県土整備部優良工事表彰を賜り誠にありがとうございます。受賞にあたり、ご指導頂きました監督職員の皆様、ご協力を頂いた青い森鉄道をはじめとする関係各位の皆様には、心より感謝申し上げます。

本工事は、青い森鉄道直上の夜間桁架設工事が主体であることから、桁架設工法の検討、タイムスケジュール、指揮命令系統、感電対策等を重点的に管理する事により、高品質で出来栄の良い鋼箱桁を完成させることができました。

今回の受賞を励みとし、弊社の経営理念【安全はすべてに優先する】に基づき、安全で高品質な技術とサービスをお客様に提供する事に努め、社会に有用な付加価値をこれからも創出して参ります。

今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



東鉄工業株式会社
東北支店長
野村 修也



田中建設株式会社
代表取締役社長
田中 大文



東鉄工業株式会社
監理技術者
横山 典明



田中建設株式会社
主任技術者
若木 典博